

令和元年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

| No. | 団体名 | 事業名 | 事業概要 | 事業コース | 申請額(円) | 交付額(円) | コメント |
|-----|---------------------|-------------------------------------|---|--------|---------|---------|--|
| 1 | 社会の中で共に生きる会あゆみ | 保健、医療又は福祉の増進 | うつ病、不安障がい、発達障がいなどを抱え社会の中で「生きづらさ」を感じている当事者の会です。家から一步、外へ歩み出て人と交流し、ほっとできる居場所です。月に1回、参加者が集まって交流します。当事者が主体となつて、お互いの近況や情報交換をしながら、お互いの悩みを共有して支えあいます。 | スタート支援 | 48,300 | 48,300 | 「生きづらさ」を感じている人たちが、家から一步外へ出て、人と交流し、情報交換しながら悩みを共有し、「ほっと」できる場所づくりであり、その活動は、非常に意義のあるものだと感じます。今後は有資格者や支援者の関わり方を整備して、活動内容の具体化とともに会の方向性をご検討ください。会の運営のスタートを支援いたします。 |
| 2 | 「人の輪と心を育む」ひまわり教室 | 聴覚障がい児の保護者及び聴覚障がい児者支援事業 | ひまわり教室では聴覚障がい児(乳幼児から)の保護者や聴覚障がい当事者が集まり学び合う場を企画しています。きこえない人との出会いや当事者の縦横の交流は将来の見通しにつながり、聴覚障がいを肯定し、人との関わり方やコミュニケーション、生き方などを学ぶ機会になっています。毎月第3水曜日の声と手話での絵本の読み聞かせ「ふうちゃんのでのひら絵本」は聞こえる人と聞こえない人が自然につながる楽しい場です。聴覚障がい理解と共生につながる「きこえないってどんなこと？」の出前授業も行っています。悩みをいつでも相談できる場所で困ったときの駆け込み寺の役割もしていますので、遠慮なくお越しください。 | 自立支援 | 120,000 | 120,000 | 2010年の設立以降、「てのひらえほん」をはじめ聴覚障がい者の保護者支援や聞こえる人と聞こえない人をつなぐ場づくりなど、その活動は多岐にわたっていますが「聴覚障がい者支援」を広げ深めるというコンセプトは一貫しており、毎年、高く共感しています。今年度はさらに外部から講師を招き、講演会を開くなど、将来を見据えた新しい発展を目指しておられる点に敬意を表します。今後はスタッフ、参加者をより多く集め、より共感性の高い活動として、さらなる発展を遂げることを期待します。以上により、強化・発展ありと判断し、昨年度同額を交付します。 |
| 3 | 特定非営利活動法人すいた体験活動クラブ | 児童たちが校庭の一角で「二毛作」と「地産地消」を実体験する学習支援事業 | 都市化がすすむ吹田市内10校の小学校で、5年生児童約1,008人が、校庭でミニ田んぼをつくり、一年を通して稲作とタマネギの栽培の農作業に取り組み、授業で学ぶ「二毛作」と「地産地消」を実体験する。また、田んぼに集まる虫や鳥などの野生の生きものの観察を行ない、学びが広がる体験学習を支援する事業です。 | 自立支援 | 100,000 | 100,000 | 市内の多くの小学校で長年活動されており、学校の体験授業として活動されていることに敬意を表します。学校においては児童だけでなく教職員にとっても存在意義の大きいものになっています。農業体験では児童が収穫の喜びを感じる為には、日ごろの作業や手入れにまで気を配り、成果を出されている様子がわかりました。積極的に民間の補助金や助成金を活用され、活動の継続性を確保されていることも評価いたします。今後は客観的評価も得ながら、学校関係者に事業の必要性を訴え、認知を得る努力をしていただくことを期待いたします。 |
| 4 | 吹田市聴言障害者協会 | 手話等交流カフェ | 手話交流カフェを月1回開催し、手話でおしゃべりしたり、情報を共有したりします。地域の聞こえない人と聞こえる人の手話交流企画をします。情報コミュニケーションを保障し、聞こえない人の問題を理解していく事業で、ひとりぼっちの聞こえない人をなくしていきます。そして生活の問題や悩みなどを解決していくきっかけになればと思います。 | 自立支援 | 20,000 | 20,000 | 大変重要な活動をされており、携わっている皆様のご苦勞に感謝します。今後は、聴覚障害をもった人だけでなく、広く手話を学びたい市民に活動をひろげていただきたいと思います。事業目標達成に向けて、広報力、インターネット活用など視野に入れて様々な層に情報を届けていただきたいと思います。 |

令和元年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

| No. | 団体名 | 事業名 | 事業概要 | 事業コース | 申請額(円) | 交付額(円) | コメント |
|-----|--------------------|----------------------------------|---|-------|---------|---------|--|
| 5 | 特定非営利活動法人すいた環境学習協会 | 旧街道に残る「吹田の道標調査と冊子作成」 | <ul style="list-style-type: none"> ・現存する道標を調査し、まとめる。 ・なくなった、もしくは移転した道標がどこにあったかを調べる。 ・市民が容易に道標を訪ねる事が出来るように冊子にまとめる。 ・一定数の冊子を作り市民に配布し、歴史遺産としての道標を知ってもらう。 | 自立支援 | 250,000 | 0 | <p>法人としての幅広い環境活動は素晴らしく、そのことが様々な環境系の助成事業の採択につながっていると思います。補助金の交付審査にあたっては、活動が必要とされる理由や目的、その活動が生み出す効果などについての説明が大きなポイントとなります。吹田市内の現存する道標を調査し、冊子を作ることはおもしろい試みであると思います。しかし、単に冊子を作成して配布をするだけでなく、教育機関とどのように連携して、吹田市の歴史の学習をどのように行うのか、その結果どのような効果を期待するのか、より具体的な目標設定が必要ではないでしょうか。教育機関との連携方法などを具体的に深めていただき、来年度の応募を期待し、今年度の補助は見送らせていただきます。</p> <p>大きな法人ではありますが、それぞれの活動の把握、団体全体のビジョン、ミッションを共有し周知することで、次世代に活動を引き継ぎ、ぜひこのような活動が継続できる団体となることを希望いたします。</p> |
| 6 | 千二おやじの会 | お父さん先生の楽しいコミュニティ作り | お父さん世代が集まることで実現できる幅広い分野での活動を通して、子どもに多様な価値観を知る機会を与えとともに、地域コミュニティの強化による防犯、犯罪の抑止力、災害時の協力体制の構築にも役立つ。 | 自立支援 | 500,000 | 394,400 | <p>お父さん世代がボランティア参加することで地域の活性化と、親子関係や地域のつながりが強化されるとい、これからの時代の地域を担う新しい組織形態と言えるもので、その活動スタイルと運営形態は他の団体のモデルプランとなるものと思われます。それだけにこの取組が継続・定着できるよう、体制を早期に確立されることを希望します。</p> <p>今回の申請において、備品購入費が事業費の大きな部分を占めていますが、活動内容はその時々での指導者の得意分野によって変化していく、ということであるため、備品については補助の対象外とし、それ以外の経費に対し補助金を交付します。</p> |
| 7 | 千里丘連合町会 | 山二地区防災計画づくり事業【千里丘連合町会新規事業】 | 導入した災害時安否確認カードや一斉メールシステムを利用した訓練を地区全体で積み重ねながら、山二地区防災計画を練り上げます。課題は積極的発信しながら地区住民と共有化し、災害に向き合い、災害に備える千里丘を目指します。 | 自立支援 | 150,000 | 0 | <p>昨年の大阪北部地震を受け、地域ぐるみで防災意識を高めるだけでなく、「災害時安否確認カード」作成・配布や「一斉メールシステム」の導入など、具体的に実現されていることに敬意を表します。地域住民の方々の方々のつながりの強さや実行力の高さを感じる一方、会員以外にも「一斉メールシステム」への参加を可能とするなど、懐の深さも感じられ、その人間味あふれる地域活動は、他の団体の模範となると思われます。</p> <p>しかし、今回の申請の活動に関しては、自治会活動の一環として行われるものという判断となり、審査の結果、審査点数が基準点に満たず交付を見送らせていただきます。</p> |
| 8 | ママGOGO | ママパスポートを持ってGo!Go! つながり・まなびプロジェクト | 「ママが元気になるれば子どもも元気になり、マチが明るくなる」を理念に活動してきた団体です。公的施設や地域の暮らしなど身近な安心・安全な情報を当事者目線で届ける「ママパスポート」を発行。今年度は読者と260名のLINE会員に主催企画(いっしょもちあげ大会や防災などの講座)を発信し、顔のみえるつながりとママのまなびをサポート。ママ同士が日頃からお互いに支援し合う関係性を創り出します。 | 自立支援 | 270,358 | 146,963 | <p>輪の中に入りにくい母親たちをつなぐきっかけづくりになるママパスポートの存在は子育て世代に広く共感を得るものと感じました。冊子については活動のミッションやコンセプトを明確にし、掲載団体との関係構築を目指すなどしっかりと取り組んでいかれることを望みます。</p> <p>今後は、母親達にサービスを提供するだけでなく母親たちが活動するきっかけづくりにもつなげていかれること、また男女共同参画の視点も見据えた活動になることを期待いたします。</p> <p>なお今回は新規事業として「つながりをつくる」目的で主催企画事業を提案されていますが、過去の事業との変化が感じられず、継続事業と判断させていただきました。</p> |

令和元年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

| No. | 団体名 | 事業名 | 事業概要 | 事業コース | 申請額(円) | 交付額(円) | コメント |
|-----|------------------------|----------------------------------|--|-------|---------|---------|--|
| 9 | 片山・岸部ブロック介護者支援の会 | 片山・岸部ブロック介護者支援の会 | 当会が発足したきっかけは吹田市地域ケア会議片山・岸部ブロック別定例会で行った「男性介護者料理教室」で、参加者の方が「今日、皆さんと一緒させていただき、一人じゃないことが分りました。少し勇気が出たように思います。これからも頑張りますので、宜しくお願いします」と言われたこの言葉に応えるために、私たちは片山・岸部ブロック介護者支援の会の結成を決意した。要支援・要介護者となったとしても、人としての尊厳と希望のある日々の暮らしが守られなくてはならない。片山・岸部ブロック介護者支援の会は、介護者が地域の仲間たちと共に励まし合って暮らすことが出来る「地域づくり」に貢献したい。 | 自立支援 | 337,079 | 255,200 | 地域の介護者が交流し互いに助け合う関係作りを推進することは、先駆的な試みであると思います。 活動にあたっては、より多くの方の利用を目指す中で、具体的な支援の内容などの周知を進めていただければと思います。冊子の作成においては具体的な内容を記載することで介護者にとって重要な情報の提供となり、介護110番の旗の配布においては具体的な活動の提示により介護110番の利用者増につながると考えます。 また、持続可能な取り組みとなるよう、事業者連携により費用を抑え、他地域のモデルとなるような介護者を支える仕組みを作っていただけることを期待いたします。 |
| 10 | 古江台つながりプロジェクト | おうち食堂 | 一人で食事をして寂しい思いをする子供たちが一人でいなくなるように、小学生を対象として、食事の提供を行う。 | 自立支援 | 57,500 | 32,350 | 「地域の子どもたちがさみしい思いをしないように食事と居場所を提供する」という趣旨は、昨今の子どもたちを取り巻くさまざまな問題から子どもを守る取り組みであり、若い世代がPTAのつながりをもとにスタートしたという意味でも今後、他の地域のモデルとなる活動に育つことを期待します。 今後、この活動が長く継続し自立を目指すためには、より広い世代の手助けや地域団体からの支援の仕組みの構築、食材の調達に関するアイデアを募る必要性があると考えます。この活動が長く続き、子どもたちの居場所として、また地域の人々の活躍の場として育つことを期待しています。 なお、申請額のうち食材料費については参加費で賄うことが基本ですので、減額して交付します。 |
| 11 | 公益財団法人 INCLUSION JAPAN | 好日荘 寺子屋事業 | 好日荘は、みんなの「寺子屋」です。カタチはまだ決まっていません。子どもたちにとっては「おばあちゃん家」高齢者にとっては「まだまだ社会で活躍できる場所」現役世代にとっては「なんでも相談できる場所」になることが出来ます。「子どもたちとお年寄りが支え合うこと」「日本人と外国人が学び合うこと」「マジョリティーとマイノリティーが認め合うこと」好日荘は、そんな社会が交差する場所でありたいと思っています。 | 自立支援 | 500,000 | 0 | 事業のコンセプトは社会背景や時代のニーズを捉えたものであり、好日荘の取り組みが地域に果たす役割については十分に評価されるものだと思います。 しかしながら今回応募された事業内容である学童保育においては、一般的な学童クラブ等と変わらない月謝や人件費の設定等、一般的事業としての性格が強く、また法人としてのしっかりした財政基盤もあり貴法人独自の運営が可能と判断し、補助を見送らせていただきます。 |
| 12 | 世界の料理ピロギ・ジャパン | 食文化を通じて世界を知る。外国人住民による多文化共生理解出前講座 | 外国人住民(主に主婦)を講師として、その国の家庭料理を教える会員制の料理教室を開催するとともに、会員以外の市民に向けて世界の食文化を通じた多文化共生出前講座を市内の学校のPTAなどに呼びかけて開催していく。また、他団体が主催する国際交流や多文化共生に関するイベントにも積極的に参加する。 | 自立支援 | 110,000 | 60,000 | さまざまな国の料理を外国人とともに作ることを通して、多文化共生を目指す活動に先駆性・公益性を感じます。日本で暮らす外国人が孤立することなく、日本社会に溶け込むための交流は重要であると同時に、外国人と接することでより多くの日本人が異文化を理解できるように働きかけることも重要だと思います。また、単に外国人から料理を学ぶだけでなく、複数の外国人と日本人が交流する場を設けることで、さらに発展する可能性を秘めていると思います。今後の自立を考えると、年会費の増額や他の資金調達の方法を検討する必要があると思います。 なお、備品購入費のプロジェクトについては、会場に備え付けの機器等を活用できるよう、事前準備を十分に行って戴くこととし、今回交付する補助金の対象外とします。 |